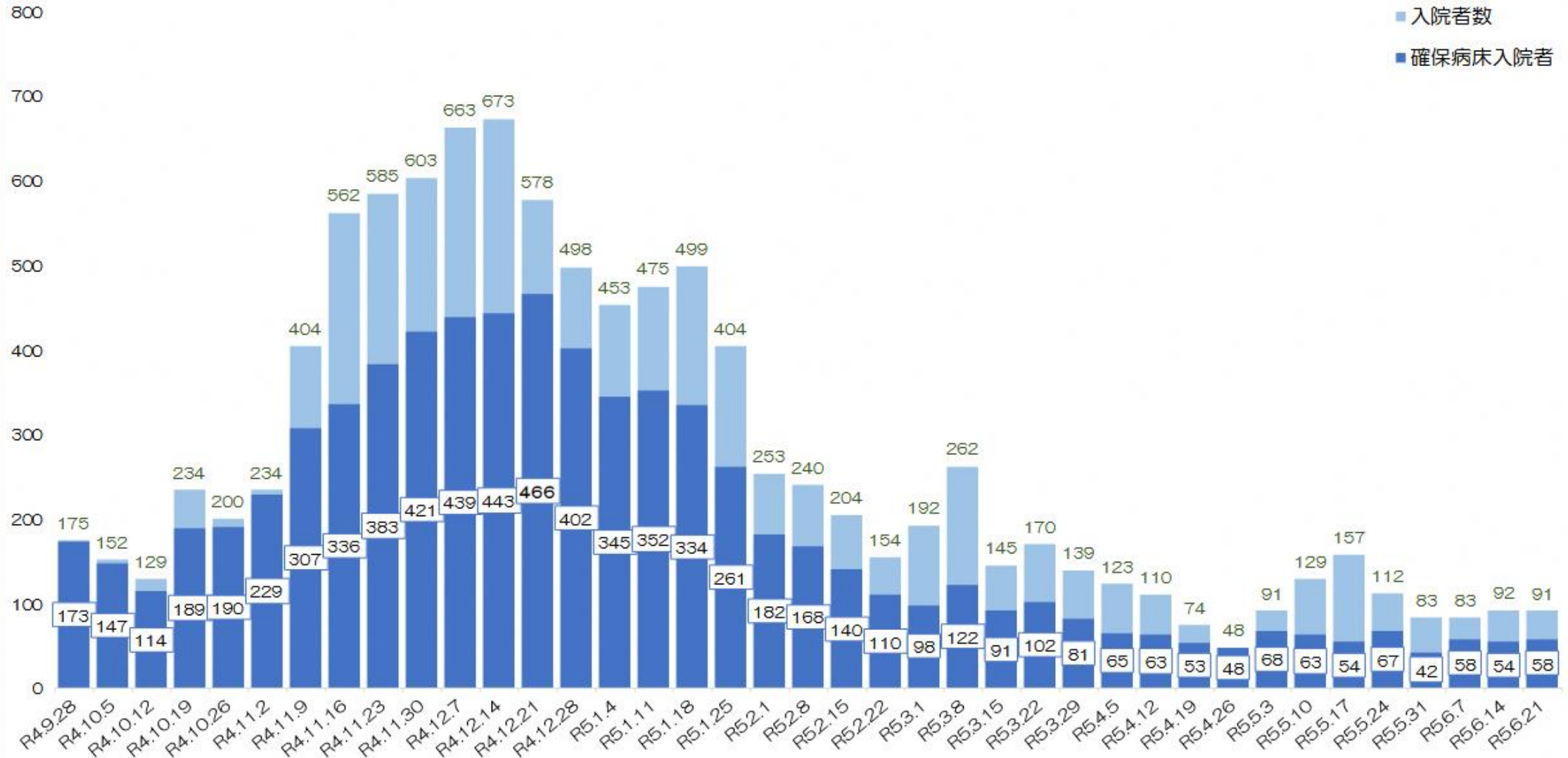


入院者の状況

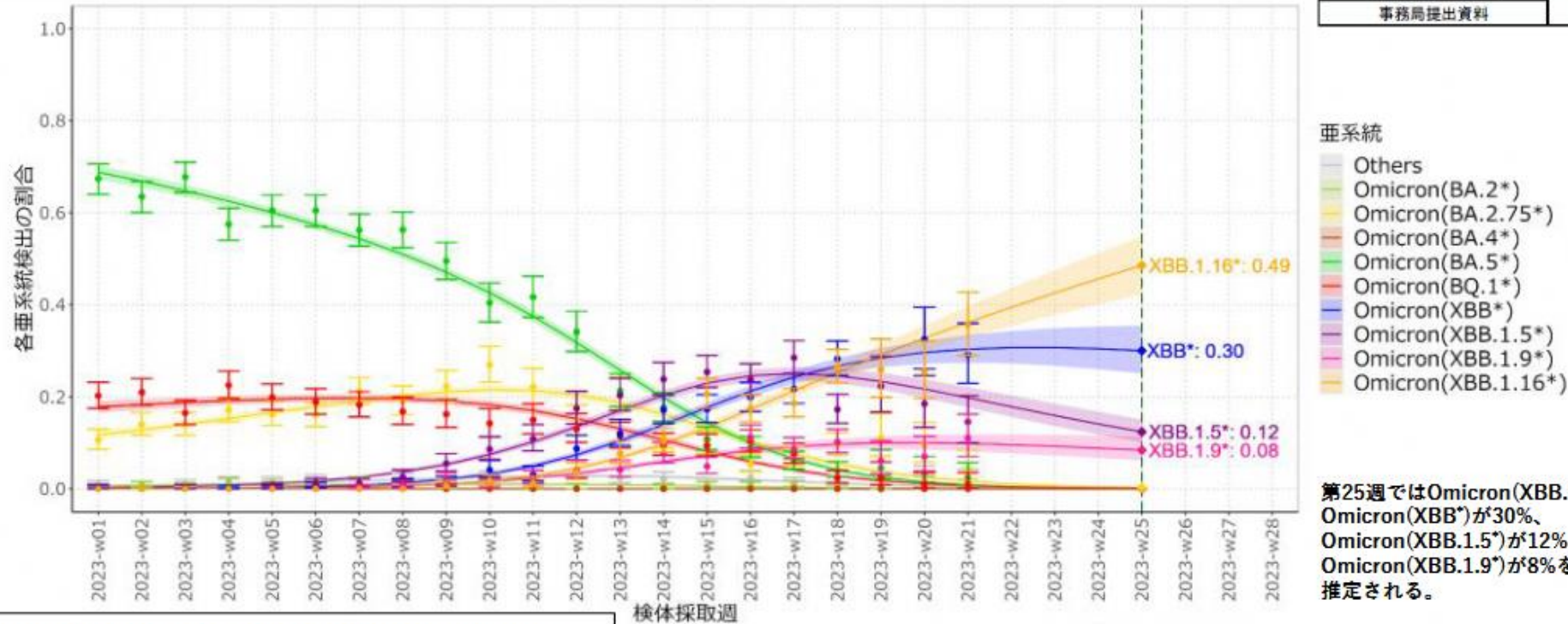


※入院者数の最大値はR4.12.9の760人

民間検査機関の検体に基づく亜系統検出の推定

(6月12日時点)

第122回 (令和5年6月16日) 新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザリーボード 事務局提出資料	資料2-1
--	-------



第25週ではOmicron(XBB.1.16*)が49%、Omicron(XBB*)が30%、Omicron(XBB.1.5*)が12%、Omicron(XBB.1.9*)が8%を占めると推定される。

国内で流行している主な変異株 (感染研)

2023-w25=2023年第25週:
2023年6月19日-2023年6月25日

XBB.1.16系統 (亜系統含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者増加の優位性や免疫逃避に関する知見があるが、現時点で他のオミクロンの亜系統と比較して公衆衛生上のリスク増加につながる証拠はない。また臨床的・疫学的な知見は十分ではない。 ・アフリカ、中東地域を除き割合が上昇しているが、世界的に他の亜系統から急速に置き換わる傾向はみられない。早期に割合の増加が見られたインドとシンガポールからの報告では重症度の上昇の兆候は見られない。
XBB.1.9系統 (亜系統含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者増加の優位性に関する知見があるが、臨床的・疫学的な知見はまだ十分ではない。 ・欧州等で割合の上昇が見られていたが4月半ばごろから世界的に割合は横ばいとなっている。検出されている国において重症度の上昇の兆候は見られない。
XBB.1.5系統 (亜系統含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者増加の優位性や免疫逃避に関する知見があるが、重症度の上昇の兆候は見られず、現時点で他のオミクロンの亜系統と比較して公衆衛生上のリスク増加につながる証拠はない。また臨床的・疫学的な知見は十分ではない。 ・米国を中心に世界中で割合の増加が見られていたが、3月下旬ごろから世界的に減少傾向にある。

※XBB系統は、オミクロンBA.2系統の組換え体

※Omicron(XBB*)は、XBB.1.16系統(下位系統)とXBB.1.5系統(下位系統)及びXBB.1.9系統(下位系統)以外のXBB系統

XBB.1.16の特徴

- 高い実効再生産数:オミクロンXBB.1.5株よりも高い
- 高い感染力:オミクロンXBB.1.5株と同等
- 高い:免疫逃避能:再感染の危険
- ソトロビマブが効果的

- 重症度?:従来のもものと比較して同等もしくは低下
(入院リスク約30%)
- 高齢者の死亡率はワクチン接種にて大きく低下

第3回献血時の検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有割合実態調査 (結果速報、都道府県別)

都道府県名	抗体保有割合 (95%CI)	都道府県名	抗体保有割合 (95%CI)	都道府県名	抗体保有割合 (95%CI)
北海道	42.2% (37.2 - 47.3%)	石川県	34.1% (29.4 - 39.1%)	岡山県	42.2% (37.2 - 47.3%)
青森県	34.9% (30.1 - 39.9%)	福井県	45.6% (40.5 - 50.7%)	広島県	46.4% (41.3 - 51.5%)
岩手県	35.7% (30.9 - 40.7%)	山梨県	41.1% (36.2 - 46.3%)	山口県	37.8% (32.9 - 42.8%)
宮城県	39.1% (34.2 - 44.1%)	長野県	38.3% (33.4 - 43.3%)	徳島県	41.1% (36.2 - 46.3%)
秋田県	38.0% (33.1 - 43.1%)	岐阜県	39.1% (34.2 - 44.1%)	香川県	44.3% (39.2 - 49.4%)
山形県	37.2% (32.4 - 42.3%)	静岡県	41.4% (36.4 - 46.5%)	愛媛県	40.1% (35.2 - 45.2%)
福島県	38.8% (33.9 - 43.9%)	愛知県	44.5% (39.5 - 49.7%)	高知県	41.7% (36.7 - 46.8%)
茨城県	39.6% (34.7 - 44.7%)	三重県	44.3% (39.2 - 49.4%)	福岡県	50.0% (44.9 - 55.1%)
栃木県	38.5% (33.6 - 43.6%)	滋賀県	40.9% (35.9 - 46.0%)	佐賀県	49.0% (43.9 - 54.1%)
群馬県	38.3% (33.4 - 43.3%)	京都府	50.5% (45.4 - 55.6%)	長崎県	46.9% (41.8 - 52.0%)
埼玉県	42.2% (37.2 - 47.3%)	大阪府	49.5% (44.4 - 54.6%)	熊本県	49.7% (44.6 - 54.9%)
千葉県	47.4% (42.3 - 52.5%)	兵庫県	46.9% (41.8 - 52.0%)	大分県	41.9% (36.9 - 47.0%)
東京都	52.9% (47.7 - 57.9%)	奈良県	48.7% (43.6 - 53.8%)	宮崎県	52.9% (47.7 - 57.9%)
神奈川県	40.6% (35.7 - 45.7%)	和歌山県	36.7% (31.9 - 41.8%)	鹿児島県	45.1% (40.0 - 50.2%)
新潟県	37.2% (32.4 - 42.3%)	鳥取県	35.7% (30.9 - 40.7%)	沖縄県	63.0% (58.0 - 67.9%)
富山県	41.4% (36.4 - 46.5%)	島根県	36.7% (31.9 - 41.8%)		

(注)

1) 全血献血又は成分献血の基準を満たし、以下のいずれにも該当しない者を対象とする。

- ・新型コロナウイルス感染症と診断された又は新型コロナウイルス検査で陽性になったことがあり、症状消失後（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）4週間以内の方
- ・発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含む新型コロナウイルス感染症が疑われる症状や、味覚・嗅覚の違和感を自覚する方で、症状出現日から2週間以内及び症状消失から3日以内の方
- ・新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者に該当し、最終接触日から2週間以内の方

2) 結果の解釈に当たっては、以下の点に留意する必要がある。

- ・今回の都道府県別の測定結果は、各都道府県について、陽性判定された検体数を当該都道府県の全検体数で割った値であり、単純集計にて求めたものである点

XBB.1.16株に対する対策

- 適切な場面でのマスク着用
 - 医療・介護施設内
 - 体調不良時
 - 感染流行地域
- 早期の検査
- ワクチン接種、ブースター接種